

質問に対する回答書

(見積に関する質問に対する回答)

工事等番号 令和6年度河川事推継第1号

工事等件名 津市モーターボート競走場防風ネット改修工事

上記案件に係る質問に対して、下記のとおり回答します。

設計図書等のページ 箇所	質 問 内 容	回 答
	・ 棧橋支持杭について、地質等の想定された条件が異なり、バイブロ工法にて打設が不可能な場合は、設計変更の対象と考えますが宜しいでしょうか？	現工法にて、打設が不可能となった場合は、別途協議とします。
	・ 棧橋支持杭の重防食塗装について、GL-1m より上を塗装する事となっています。打設の際に土中の重防食塗装が損傷すると考えられますが、補修は考えられていないのでしょうか？また、補修が必要になった時は、設計変更の協議対象と考えますが宜しいでしょうか？	水中部に位置する塗装部についてはヘドロ及び緩い砂層になるため、重防食塗装の補修は考えておりません。 また、補修が必要になった時は、別途協議とします。
	・ 想定されている施工計画では、施工者の責ではなく施工の過程(本設棧橋の使用等)で重防食塗装に傷が発生すると考えます。設計に反映されている補修部位や補修方法について明示願います。また、設計に反映されていない場合は設計変更の対象と考えて宜しいでしょうか？	最低限の養生をした上で、施工者の責ではなく施工の過程で塗装に傷が発生した場合及び、設計に反映されていない補修箇所については、別途協議とします。
	・ 防風ネットの鋼管杭を油圧ハンマにて打設する時の騒音対策についての検討結果を開示願います。	鋼管杭施工は、レース中止期間の昼間施工かつ、近隣に住居等がないため、騒音対策については必要ないと考えております。

	・資材搬入・搬出ルートで決められたルートがありますか？ 又、住民等のお約束で通行できないルートや時間規制がございましたら、ご教示ください。	資材搬入・搬出ルートで決められたルートはありませんが、レース開催日の駐車場はお客様の通行が優先となり施設内に大型車両等の通行が見込まれる場合は別途協議とします。 施設内別途工事との調整が必要になることもあります。 住民等のお約束で通行できないルートや時間規制ありません。 苦情・要望等にて調整が必要になれば、別途協議とします。
	・津ボート敷地内において、工事関係車両の通行ルートに工事看板等設置は可能でしょうか？	設置場所によるため、別途協議とします。
	・作業時間について、特記仕様書に記載されている時間帯以外でも作業可能でしょうか？	特記仕様書記載以外の時間帯については、別途協議とします。
	・特記仕様書では『建設発生土の受入れ先あり、受け入れ料金あり』と明記されています。場所の詳細及び料金の提示をご教示ください。	建設発生土の受入れ先については、津市河芸町上野建設発生土処分場（津市河芸町上野 564 番地他）です。 また、受け入れ料金については、工事費積算参考資料 P545 登録単価のとおりです。
	・防風ネット設置工事の歩廊点検路の図面がありません。歩廊点検路は不要という事で宜しいのでしょうか？	栈橋を設置し、維持管理ができるため歩廊点検路は不要との考えです。
	・仮設計画図(参考図)に仮囲い(H=2m)や囲い(H=3m)が明記されていますが設計内訳書には仮囲い(H=2m)しか計上されていません。囲い(H=3m)は設計書漏れではないのでしょうか？	囲い(H=3m)については、別途工事にて施工予定です。
図面番号 11 /72	・避雷設備詳細図において、C25 柱の避雷針(H= 6.0m)の仕様が明示されていませんのでご教示ください。	公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）に規定されている「SUS-6」とします。

	・仮設発電機の損料期間及び1次電源が供給される時期をご教示ください。	今回設置する発電機は、仮設ではなく本設です。また、発電機は工事内での購入となります。 動作確認等については、受注者での対応となります。
	・防風壁撤去の足場が計上されていませんが、計上漏れではないでしょうか？	防風壁撤去については、栈橋からの施工をメインとし、水上部付近及びコンクリート柱の撤去につきましては、裏からの補助作業を予定しております。作業上困難な場合は、別途協議とします。
設 計 書 P33	・構造物撤去工、既設防風壁撤去工、劣化部補修1式と表示されており、数量計算書でも1式で数量が計上されていますが、詳細をご教示ください。また図面上で場所も特定されていませんので、ご教示ください。	劣化部補修については、数量計算書P175、P176及び、図面番号54/72のとおりです。
図面番号 6/72 24/72	・図面番号6/72、防風ネット工事特記仕様書、8杭工事、防食塗装仕様において、防風ネット30m現場溶接部(φ900)の防食内容が超厚膜形被覆と明記されています。 また、図面番号24/72、防食塗装仕様の栈橋10m橋脚部(現場継手部)の防食内容が超厚膜形被膜と明記されています。下段杭と上段杭の継手部は土中に打設する事になりますが、重防食塗装が必要でしょうか？	地中部での現場溶接部につきましては、無塗装とします。 競走面上にあたる鋼管杭と防風ネット支柱の現場溶接部及び栈橋H杭と桁受け材継手部等が重防食塗装になります。
図面番号 6/72	・図面番号6/72の防食塗装仕様に、工場塗装としてウレタンエラストマー2.5mmが記載されていますが、この費用は支柱材料の単価に含まれていると考えてよろしいですか。御教示下さい。	工場塗装ウレタンエラストマー2.5mmについては、登録単価P545鋼管杭(C2～27)の鋼管杭材料に含まれております。
図面番号 58/72	・図面番号58/72等には、転石及び護岸あり、栈橋杭位置の確認及び施工時に留意が必要と明記されています。現地をみたところでも、防風ネット基礎杭や栈橋施工の際に、捨て石等と干渉する可能性があります。杭施工等で支障をきたした場合には、事前の障害物の撤去や杭位置の変更等も必要になる場合があるかと思われます。この場合、変更協議の対象として頂けるでしょうか。御教示下さい。	杭位置の変更は考えておりませんが、障害物の撤去が必要な場合は、別途協議とします。